



「2023年度新幹線総合車両センター業務計画について」提案を受ける!

1月31日 JR東労組は「2023年度新幹線総合車両センター業務計画について」の提案を受けました。以下提案内容です。

2023年度は安全・安定輸送の確保を大前提としながら、台車モニタリング工事やE8系新幹線電車営業投入、E956形の全般検査等を推進し、変化の大きい社会環境の中でも新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくためグループ全体で連携して業務を遂行していく。

1. 定期検査工事計画

車種	検査両数		
	全般検査	台車検査	計
E2系	56	10	66
E3系	40	14	54
E5系	162	240	402
E6系	62	35	97
E7系	130	156	286
E8系	0	0	0
E926形	0	6	6
E956形	10	0	10
計	460	461	921

～今後の交番検査施行担当車両について～

各車両センターにおけるサステナブルな検査体制を構築することから、交番検査の施行本数の調整を図るため、4月1日から実施する。

【各車両センター共通】1日1編成の交番検査を基本

- ・新幹線総合車両センター E5系、E926系、E956系
- ・盛岡新幹線車両センター E5系⇒新幹線総合車両センターと持ち替え
- ・山形新幹線車両センター E3系、E8系('23年2月導入予定)
- ・秋田新幹線車両センター E6系
- ・新潟新幹線車両センター E2系、E7系
- ・長野新幹線車両センター E7系⇒新潟新幹線車両センターと持ち替え

2. 主な改造工事

- (1) 台車モニタリング改造工事 338両 (2) E5系とE8系併結に伴う改造工事 240両

3. 車両計画

- (1) 投入計画 E5系50両、E8系21両 (2) 廃車計画 E2系80両、E3系7両、E6系7両

4. 業務等の見直し

- ・業務体制の変更により、これまで以上に教育や各種施策に取組み、車両品質の向上と社員の成長を目指す。
- ・3つの改革(業務改革・職場改革・働き方改革)を推進するため、業務量に応じた作業工程等の見直しを検討。グループ全体の持続的成長と効率的な業務運営を目的に、業務執行体制を以下のとおり変更

- (1) 台車科の一部業務をグループ会社に委託
- ・輪軸2組で担当している軸箱検修作業を委託
- (2) 検査科等の業務体制変更
- ・交番検査を最大2編成/日から、1編成/日の体制 (E2系の交番検査は新潟新幹線車両センターへ)
 - ・台車検査試運転の業務体制を計画科と融合した体制

「交渉冒頭」組合より、提案に委託内容が入っていることを指摘し、今後、労使の窓口で整理することとしました。

5. 実施時期 2023年4月1日

6. スケジュール

	1月	2月	3月	4月
	▼ 社員周知	関係教育		★ 実施
		実施準備及び要領、契約関係整備		

7. 箇所体制

	現行			改正		
	変形等	交代	計	変形等	交代	計
管理	31	1	32	31	1	32
一般	247	10	257	238	10	248

※業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する
※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行うことがある